

圃場カルテ (水稲)

管理コード	1 2 3 4 5 6 7 8	土壌採取日	20 21 / 10 / 5
対象作物名	水稲	生産団体/生産者	0000
		圃場名・番号	00-1

1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	品種	作土深	排水条件	水管理	稲わら処理	堆肥	土壌改良資材	肥料	その他
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
変更理由	収量向上	食味向上	白未熟粒の抑制	秋落ち症状の軽減	その他				
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

品種名		栽培期間	20 / / - 20 / /
排水条件	1 漏水過多, 2 適切, 3 排水不良		
水管理	1 常時湛水, 2 飽水管理, 3 間断灌漑	[2][3]の開始 - 終了	20 / / - 20 / /
稲わら処理	1 全量鋤込, 2 一部鋤込, 3 持ち出し	[1][2]の実施期間	年前から
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用	[2][3]の実施期間	年前から / 年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん	その他	
施用量	t/10a	施用日	20 / /
土壌改良資材	1 熔リン, 2 ケイカル, 3 苦土石灰, 4 石灰窒素	2	その他
施用量	100 kg/10a	施用日	20 21 / 4 / 19
肥料	1 全面全層施用, 2 側条施用, 3 苗箱施用	N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)
基肥	肥料名	%	20 / / kg/10a
穂肥	肥料名	%	20 / / kg/10a
穂肥	肥料名	%	20 / / kg/10a
ケイ酸追肥	肥料名	ケイ酸(%)	20 / / kg/10a

3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化		
1	収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上	4 実測値 520 kg/10a
2	等級	1 1等, 2 2等, 3 3等	1
1	未熟粒などの発生	1 なし, 2 白未熟粒, 3 胴割粒, 4 着色粒	1 その他
2	倒伏	1 ほぼなし, 2 1/3, 3 1/2, 4 2/3, 5 全面	1
2	生育異常 土壌病害虫	1 なし, 2 秋落ち症, 3 赤枯れ症, 4 ガス等発生による障害(春先), 5 いもち病, 6 ごま葉枯病, 7 カメムシ類	1 その他

4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

ケイカル施用によって白未熟粒が発生しなくなり、収量が向上した。

継続圃場

※ 輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入してください。

圃場カルテ

管理コード	1 2 3 4 5 6 7 8	(ダイズ、エダマメ、ソバ、コムギなど)	土壌採取日	20 21 / 10 / 18
対象作物名	ダイズ	生産団体/生産者	圃場名・番号	00-1

1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	作土深	排水条件	堆肥	土壌改良資材	肥料	土壌消毒	その他	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
変更理由	収量向上	生理障害の抑制	土壌病害虫の抑制	その他	酸性矯正			
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

栽培形態	1 ハウス, 2 露地	品種名		(積雪地域の秋播ムギの場合)
栽培期間	20 / / - 20 / /	根雪日数		日
排水条件	1 排水過多, 2 適切, 3 排水不良			
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用	[2][3]の実施期間		年前から / 年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん	その他		
施用量		t/10a	施用日	20 / /
土壌改良資材	1 苦土石灰, 2 石灰窒素	1	その他	
施用量	200	kg/10a	施用日	20 21 / 5 / 19
肥料		N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)	
基肥	肥料名			20 / / kg/10a
追肥	肥料名			20 / / kg/10a
追肥	肥料名			20 / / kg/10a
土壌消毒	1 なし, 2 あり	薬剤名	太陽熱消毒の有無	
		その他	実施月	20 /

3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化		
1	収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上	4 実測値 190 kg/10a
2	生理障害	1 なし, 2 実の異常, 3 葉/茎の異常	1 症状、障害名
2	土壌病害虫	1 なし, 2 立枯病, 3 茎疫病, 4 黒根腐病, 5 白絹病, 6 縞萎縮病, 7 雪腐病, 8 ダイズシストセンチュウ	1 その他

4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

苦土石灰の施用で収量が向上した。

継続圃場

※ 輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入してください。

圃場カルテ (葉菜/根菜類)

管理コード	1 2 3 4 5 6 7 8	土壌採取日	20 21 / 10 / 25
対象作物名	ホウレンソウ	生産団体/生産者	0000
		圃場名・番号	00-1

1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	作土深	排水条件	堆肥	土壌改良資材	肥料	土壌消毒	その他
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
変更理由	収量向上	生理障害の抑制	土壌病害虫の抑制	その他			
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

栽培形態	1 ハウス, 2 露地	品種名					
栽培期間	20 / / - 20 / /						
排水条件	1 排水過多, 2 適切, 3 排水不良						
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用	1	[2][3]の実施期間		年前から		年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん	3	その他				
施用量	0 t/10a	施用日	20 / /				
土壌改良資材	1 苦土石灰, 2 石灰窒素	1	その他				
施用量	0 kg/10a	施用日	20 / /				
肥料	1 全面全層施用, 2 畝内施用		N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)			
基肥	肥料名					20 / /	kg/10a
追肥	肥料名					20 / /	kg/10a
追肥	肥料名					20 / /	kg/10a
土壌消毒	1 なし, 2 あり	薬剤名			太陽熱消毒の有無		
		その他			実施月	20 /	

3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化				
1	収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上	4	実測値	1.1 t/10a
2	生育状況	1 旺盛すぎる, 2 適切, 3 劣る	2		
1	可販品率	1 ほぼ100%, 2 90%以上, 3 80%以上, 4 80%未満	3		
1	生理障害	1 なし, 2 葉の異常, 3 根の異常	2	症状、障害名	葉脈間の黄緑色斑の発生
2	土壌病害虫	1 なし, 2 根こぶ病(アブラ科), 3 立枯病, 4 萎凋病, 5 軟腐病, 6 萎黄病, 7 根腐病, 8 そうか病, 9 ネコブセンチュウ, 10 ネグサレセンチュウ, 11 ジャガイモシストセンチュウ, 12 ホウレンソウケナガコナダニ	1	その他	

4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

鶏ふん堆肥と苦土石灰を無施用としたところ、葉の黄緑色斑の発生が少なくなった。

継続圃場

※ 輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入してください。

圃場カルテ (果菜類)

管理コード	1 2 3 4 5 6 7 8	土壌採取日	20 21 / 11 / 30
対象作物名	トマト	生産団体/生産者	0000
		圃場名・番号	00-1

1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	作土深 <input checked="" type="checkbox"/>	排水条件 <input checked="" type="checkbox"/>	堆肥 <input type="checkbox"/>	土壌改良資材 <input type="checkbox"/>	肥料 <input type="checkbox"/>	土壌消毒 <input type="checkbox"/>	その他	
変更理由	収量向上 <input checked="" type="checkbox"/>	生理障害の抑制 <input type="checkbox"/>	土壌病害虫の抑制 <input type="checkbox"/>	その他	湿害の回避			

2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

栽培形態	1 ハウス, 2 露地	品種名	
栽培期間	20 / / - 20 / /		
排水条件	1 排水過多, 2 適切, 3 排水不良		2
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用	[2][3]の実施期間	年前から / 年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん	その他	
施用量	t/10a	施用日	20 / /
土壌改良資材	1 苦土石灰, 2 石灰窒素	その他	
施用量	kg/10a	施用日	20 / /
肥料		N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)
基肥	肥料名		20 / / kg/10a
追肥	肥料名		20 / / kg/10a
追肥	肥料名		20 / / kg/10a
土壌消毒	1 なし, 2 あり	薬剤名	太陽熱消毒の有無
		その他	実施月 20 /

3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化		
1	収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上	3 実測値 10 t/10a
1	樹勢の特徴	1 旺盛すぎる, 2 適切, 3 悪い	2
2	生理障害	1 なし, 2 果実の異常, 3 葉/茎の異常	1 症状、障害名
2	土壌病害虫	1 なし, 2 青枯病, 3 ホモブシス根腐病, 4 疫病, 5 つる割病, 6 半身萎凋病, 7 ネコブセンチュウ, 8 ネグサレセンチュウ	1 その他

4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

プラソイラによる耕盤破碎で作土層が深くなり、湿害がなくなって収量が増加した。

継続圃場

圃場カルテ (果樹)

管理コード	1 2 3 4 5 6 7 8	土壌採取日	20 21 / 11 / 19
対象作物名	リンゴ	生産団体/生産者	0000
		圃場名・番号	00-1

1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	有効土層の深さ	排水条件	堆肥	土壌改良資材	肥料	土壌消毒	その他	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
変更理由	収量向上	生理障害の抑制	土壌病害虫の抑制	その他	果実の着色と糖度の向上			
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

栽培形態	1 ハウス, 2 露地	品種名	
樹齢	年	台木名	
排水条件	1 排水過多, 2 適切, 3 排水不良	日照条件	1 不良, 2 やや不良, 3 良好
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用	1	[2][3]の実施期間 年前から 年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん	その他	
施用量	t/10a	施用日	20 / /
土壌改良資材	1 苦土石灰, 2 石灰窒素	その他	
施用量	kg/10a	施用日	20 / /
肥料		N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)
基肥	肥料名		20 / / 0 kg/10a
追肥	肥料名		20 / / 0 kg/10a
お礼肥	肥料名		20 / / 0 kg/10a
土壌消毒	1 なし, 2 あり	薬剤名	実施月 20 /

3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化					
1	収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上	3	実測値	2.2	t/10a
1	糖度	地域平均との比較 1 低い, 2 普通, 3 高い	2	実測値	15	度
1	樹勢の特徴	1 旺盛すぎる, 2 適切, 3 悪い	2			
1	生理障害	1 なし, 2 果実の異常, 3 葉/枝の異常	2	症状、障害名	ビターピット症	
2	土壌病害虫	1 なし, 2 紋羽病, 3 根頭がんしゅ病, 4 ネコブセンチュウ, 5 ネグサレセンチュウ	1	その他		

4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

肥料と堆肥の無施用によって果実の着色と糖度が向上し、ビターピット症の発生が少なくなった。

継続圃場

※ 輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入してください。

圃場カルテ (花き)

管理コード	1 2 3 4 5 6 7 8	土壌採取日	20 21 / 10 / 1
対象作物名	キク	生産団体/生産者	0000
		圃場名・番号	00-1

1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	作土深 <input checked="" type="checkbox"/>	排水条件 <input checked="" type="checkbox"/>	堆肥 <input type="checkbox"/>	土壌改良資材 <input type="checkbox"/>	肥料 <input type="checkbox"/>	土壌消毒 <input type="checkbox"/>	その他	
変更理由	収量向上 <input checked="" type="checkbox"/>	生理障害の抑制 <input type="checkbox"/>	土壌病害虫の抑制 <input type="checkbox"/>	その他	湿害の回避			

2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

栽培形態	1 ハウス, 2 露地	品種名	1 切り花, 2 球根養成
栽培期間	20 / / - 20 / /		
排水条件	1 排水過多, 2 適切, 3 排水不良		2
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用	[2][3]の実施期間	年前から / 年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん	その他	
施用量	t/10a	施用日	20 / /
土壌改良資材	1 苦土石灰, 2 石灰窒素	その他	
施用量	kg/10a	施用日	20 / /
肥料		N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)
基肥	肥料名		20 / / kg/10a
追肥	肥料名		20 / / kg/10a
追肥	肥料名		20 / / kg/10a
土壌消毒	1 なし, 2 あり	薬剤名	太陽熱消毒の有無
		その他	実施月 20 /

3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化		
1	収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上	3 実測値 47,000 本/10a
2	生理障害	1 なし, 2 花の異常, 3 葉/茎の異常	1 症状、障害名
2	土壌病害虫	1 なし, 2 立枯れ性病害, 3 萎凋病, 4 ネコブセンチュウ, 5 ネグサレセンチュウ	1 その他

4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

深さ40cm程度の深耕によって排水性が改善され、生育が向上した。